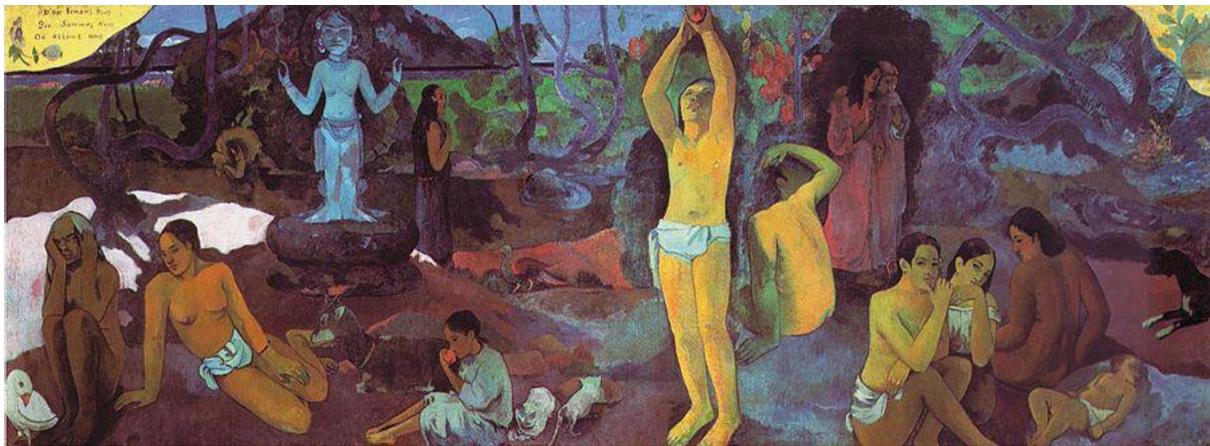


宗教学研究室紀要

THE ANNUAL REPORT ON PHILOSOPHY OF RELIGION



2023 vol.20

京都大学 文学研究科 宗教学専修 編

オンライン刊行物 http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/religion/rel-top_page/

<特集：情感性概念の応用的拡張(ポール・オーディ来日記念)>

- まえがき 伊原木 大祐 (3)
- ミシェル・アンリによる感情の『実在性』
ポール・オーディ (訳：笠木 丈) (5)
- 自己感知の本源性の起源について 笠松 和也 (24)
- 臨床心理士として仕事をしているときに経験した情感性は、どのように書けば迫真性
をおびて伝わるだろうか 塩飽 千丁 (36)
- 情感性と自己感——アンリからスターンへ 伊原木 大祐 (45)

<公募論文>

- 井筒俊彦の禅理解における意味分節の三段階
——ジーン・ブロッカーの禅理解との比較から 林 哲平 (56)
- 後期シモーヌ・ヴェイユにおける「偶像崇拜」批判の理路
——アランの知覚論との関連から 辻 光一 (84)

<研究ノート>

- ガブリエル・マルセルの手紙 鳥尾 理沙 (109)
- ベルクソン『意識に直接与えられたものについての試論』における社会的生 楠原 涼平 (117)

編集後記

(127)

——宗教学研究室紀要編集委員——

杉村靖彦	京都大学大学院文学研究科	教授
伊原木大祐	京都大学大学院文学研究科	准教授
脇坂真弥	大谷大学文学部	教授
長岡徹郎	大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部	助教

——第 20 号執筆者紹介——

ポール・オーデイ	哲学者	
笠木丈	甲南大学文学部	非常勤講師
笠松和也	九州大学大学院人文科学研究院	日本学術振興会特別研究員 PD
塩飽千丁	臨床心理士	
林哲平	京都大学大学院文学研究科	博士課程
辻光一	京都大学大学院文学研究科	博士課程
鳥尾理沙	京都大学大学院文学研究科	博士課程
楠原涼平	京都大学大学院文学研究科	修士課程

****編集後記****

本年度の研究室紀要は、通常の公募論文および研究ノートに加え、2023 年度に京都大学で開催された感性研究会における発表を基にした「特集」が掲載され、非常に充実した内容のものとなりました。

ご寄稿いただきました執筆者の皆様、「特集」の編集作業にご協力くださった伊原木先生、そして各論考の査読を引き受けていただきました編集委員の先生方には、この場を借りて改めて御礼申し上げます。また、編集作業にご協力くださった先輩方や友人達にも感謝いたします。

(松尾太陽・楠原涼平・WOO Byeongjaai 記)

Articles

Vers l'application du concept d'affectivité

Foreword	IBARAGI Daisuke	3
La « réalité » du sentiment selon Michel Henry	Paul Audi	5
Sur l'origine de l'originalité du sentiment de soi	KASAMATSU Kazuya	24
How should I write about affectivity which I experienced as clinical psychologist so that it can be conveyed with true to life?	SHIWAKU Senchō	36
Affectivity and the Sense of Self: from Michel Henry to Daniel N. Stern	IBARAGI Daisuke	45
<hr/>		
Three Stages of Semantic Articulation in Izutsu's Understanding of Zen Buddhism : A Comparison with Blocker's Understanding	HAYASHI Teppei	56
La logique de la critique de l'idolâtrie dans la philosophie tardive de Simone Weil : par rapport à la théorie de la perception d'Alain	TSUJI Koichi	84
Letters of Gabriel Marcel	TORIO Lisa	109
La vie sociale en l' <i>Essai sur les données immédiates de la conscience</i> de Bergson	KUSUHARA Ryohei	117